

藍の學校

Ai no gakko
Project to learn
Kougei through Indigo

京都芸術大学
実践型アートマネジメント・
人材育成プログラム

第1回事業期間

2024年4月 → 2025年3月

受け継ぐ、伝える、伝統文化を未来へ生かす
つづく、つぎへ、どこまでも。



各回の授業レポートは
藍の學校WEBサイトにて
随時更新!

受け継ぐ、伝える、伝統文化を未来へ生かす

実践型アートマネジメント・人材育成プログラム

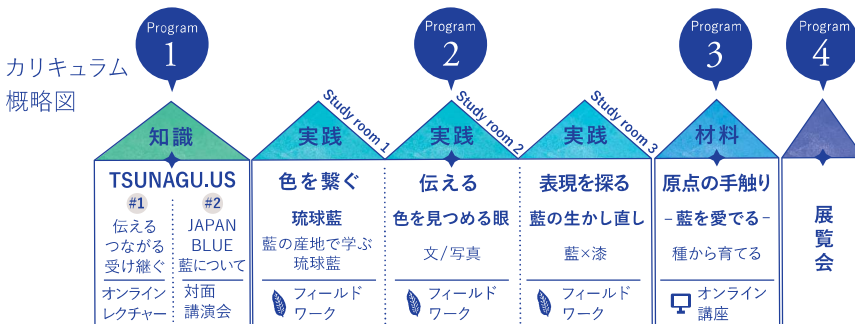
これからのアートマネジメント及び作品制作を行う人材には『環境に配慮した持続可能な物作りの思考』が資質として不可欠です。工芸は長い年月をかけてその地域に最適化された歴史を持ち、環境に対する配慮や多様な生物との共存への試みの蓄積があります。その知恵を文化、技術、科学など様々な視点から改めて捉え直すことで『環境に配慮した持続可能な物作りの思考』を抽出できると考えました。

本事業は世界各地で文化を形成している「藍」を通して工芸の文化を再考し、日本の工芸から世界の工芸へと視点を変えながら現代社会に求められている新しい思考を見出し、これらを踏まえてこれからの文化の中核を担う人材の発掘、育成を目指す実践型プログラムを提供します。

座学や実践を通し、工芸の物作りについて 思考・知識・技術の向上を目指す4つのプログラム

「知識」では工芸の物作りの歴史や暮らしについてレクチャーや講演会を通して視野を広げ、「実践」では作り上げる過程や、次世代に伝えることを学び各分野の技術の向上を目指します。「材料」では種から原材料を育てることで物作りの思考を育み、「展覧会」では藍の學校で制作したプロダクト・文章・写真・材料・道具の展示やギャラリートークを開催し来場者と共に物作りについて考える場を提供します。

令和6年 テーマ | 産地沖縄 → 伝統工芸



育成成果報告

本事業の人材育成プログラムは1年間を通して実践やレクチャーなど、様々な経験をし、受講生達の今後の活動に活かされることを目標の一つとしています。今年度の受講生からは今回の経験から芭蕉布の新しい組織を設立し、地域に根ざした伝統工芸への貢献を目指す活動が生まれました。フィールドワークの経験や人脈構築による成果と捉えています。

今後の実施予定

今後は令和6年度の成果展を開催。令和7年度のテーマは「産地・作家」、令和8年度のテーマは「産地・京都から世界へ」とし、東アジアに視野を広げ、現代における伝統工芸・文化を軸とした文化芸術の方向性を再考し、新しいスタイルの伝統工芸のあり方を考えた革新的・独創的なアートマネジメント人材と美術・工芸の担い手を育成することを目標とします。

本年度予算 予算額: 17,860千円

【実施体制】主催|学校法人瓜生山学園京都芸術大学 令和6年度文化庁「大学における文化芸術推進事業」
吉岡 洋(全体統括責任者) 京都芸術大学教授 / 三田村 有芳(プログラム実施責任者) 京都芸術大学准教授
/ 梅崎 由起子(プログラム企画責任者) 京都芸術大学専任講師

工芸・地域・産地 ＜知識＞講座



PROGRAM
1

TSUNAGU.US #1

オンラインレクチャー

講座 テーマ

「伝える・つながる・受け継ぐ」

美学者、研究者、プロデューサー、アーティストそれぞれの視点で、工芸の現状、歴史、哲学、地域プロデュースについて、オンライン座学形式の講座を全5回開催します。

第1回 | 8/23(金)18:00-19:40

ミメシスとうつし——伝達の哲学
吉岡 洋 美学者・京都芸術大学 教授



第2回 | 9/28(土)14:00-15:40

伝統を受け継ぐために必要な勇気の話
前崎 信也 工芸文化史 京都女子大学 教授



第3回 | 10/25(金)18:00-19:40

沖縄の染織物業界から考える文化と経済
鈴木 修司 ゆいまー沖繩株式会社 代表取締役・
沖縄県立芸術大学 非常勤講師



第4回 | 11/23(土・祝)15:00-16:40

染工場経営とものづくりの継統
山元 桂子 染色家(株)山元染工場 取締役・
京都芸術大学 美術工芸学科 専任講師



第5回 | 12/8(日)14:00-15:40

清水家における伝統と革新
清水 六兵衛 陶芸家・京都芸術大学 名誉教授



TSUNAGU.US #2

対面講演会 各日程 先着 100名

講座 テーマ

「JAPAN BLUE -藍について-」

講演会・東アジア地域の藍文化を通して、地域・民族との繋がりをそれぞれの視点から。

2025 **1.18(土)** 会場:京都芸術大学

第1回 | 13:00-14:40

「中国貴州省・ミャオ族の藍」
鳥丸 知子 染織研究家・北京服装学院大学 客員教授



第2回 | 15:20-17:00

「植物染料の中の藍」
山崎 和樹 草木染研究家・草木工房主宰



2025 **1.19(日)** 会場:京都芸術大学

第1回 | 13:00-14:40

「沖縄の藍」
大滝 ゆかり 沖縄県立博物館・美術館主任/学芸員



第2回 | 15:20-17:00

「阿波藍・四国大学「藍の家」の取りくみ」
有内 則子 四国大学生生活科学部人間生活科学科 准教授
徳島県藍染研究会事務局



工芸の産地＜実践＞講座

PROGRAM
2

Study room 1

色を繋ぐ

藍の産地で学ぶ 琉球藍
(フィールドワーク)

琉球藍の産地である沖縄に滞在し、琉球藍の製藍、藍建の技法を学びます。また、琉球藍と物作りとの関わりを探るために沖縄の伝統工芸である芭蕉布の糸作りを学び、紅型作家の工房を訪ねます。

〔開催場所〕名護(沖縄)ワークショップ棟・
藍ぬ葉あ農場・びんがた工房くみや



Study room 2

伝える

色を見つめる眼(文/写真)
(フィールドワーク)

オンラインレクチャーやワークショップで、産地の魅力や背景を「言葉」と「写真」で伝えるプロセスを学びます。実践では沖縄や京都で伝統工芸に携わる工房を取材し、文章と写真による記事を作成、冊子の制作から印刷入稿するまでを行います。

〔開催場所〕沖縄・京都・京都芸術大学



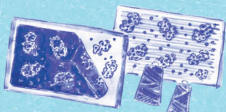
Study room 3

表現を探る

藍生かし直し(藍×漆)
(フィールドワーク)

藍と漆で藍漆の研究を行い、それを使用した藍漆糸を作ります。さらに、活用方法として現代に生かせるプロダクトを制作。物作りのプロセス実践をベースに、『藍漆糸×紅型×西陣織』の融合を目的としたデザインワークに取り組みます。

〔開催場所〕玉藍工房(おきなわ工芸の杜内)・京都芸術大学・
和工房明月・佐藤喜代松商店漆工房



オンライン講座 原点の手触り＜材料＞

PROGRAM
3

藍を愛でる

皆に親しまれている「藍」を種から育てる過程を通して原点から再認識します。合わせてオンラインレクチャーや対面ワークショップを開催。年4回発行の「愛でる通信」ではオンラインでつながる受講生の藍を愛でる様子が記載されています。



藍を愛でる note について

オンラインレクチャーをして頂いた先生方の活動をインタビュー形式で紹介しています。



PROGRAM
4

展覧会

「藍より出づ 藍の學校 琉球編」

会期

2025 **1.16(木)~28(火)**

会場 京都芸術大学 芸術館

内容

令和6年度「受け継ぐ、伝える、伝統文化を未来へ生かす実践型アートマネジメント・人材育成プログラム ~藍の學校~」の成果報告展を開催します。

